

令和2年度 実績値総括表

■ 温室効果ガス総排出量と基準年度の比較(CO₂換算値)

項目	目標 (令和3年度)	単位	平成25年度 (基準年度)	令和2年度	削減率
温室効果ガスの総排出量	基準年度比 14%削減	t/年	15,198	10,200 (10,659)	32.9 %削減

※()内は、再生可能エネルギー100%電気を調達しなかった場合
令和2年5月1日から、本庁舎及び港湾会館において、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギー100%電気を調達

■ 温室効果ガス総排出量削減に係る目標及び実績

取組項目	項目	種類	単位	平成25年度 (基準年度)	令和2年度	削減率	
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) 燃料使用量	公用車	ガソリン	kl/年	36	22	▲ 38 % (CO ₂ 換算)
			軽油	kl/年	2.8	2.4	
		天然ガス	千m ³ /年	1.0	0.0		
		船舶	ガソリン	l/年	26	1278	▲ 68 % (CO ₂ 換算)
			軽油	kl/年	62	19	
その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 電気使用量	事務		万kWh/年	236	179	▲ 70 % (CO ₂ 換算)
			事業用施設		万kWh/年	2488	
	(2) ガス、石油等の燃料使用量	事務+事業	重油	kl/年	38	30	7 % (CO ₂ 換算)
			都市ガス	千m ³ /年	327	345	
			LPG	千m ³ /年	17	13	
		灯油	l/年	20	0		
(3) ハイドロフルオロカーボン(HFC)などの代替物質を使用した製品等の購入・交換	適切な購入・交換	HFC	kg/年	0.64	0.55		
(4) 電気機械器具からの六ふっ化硫黄(SF ₆)の回収・破壊	適切な回収・破壊	SF ₆	kg/年	0.39	0.00		

■ 地球温暖化の抑制につながる目標及び実績

取組項目	項目	目標(令和3年度)	種類	単位	平成25年度 (基準年度)	令和2年度	削減率
財やサービスの購入・使用に関する取組	(1) コピー用紙の使用量	14%削減		t/年	16.5	15.8	▲ 5 %削減
その他の事務・事業に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への取組	(1) 水道使用量	基準年度の数値以下		万m ³ /年	2.0	2.2	12 %増加
	(2) 廃棄物の減量化	3%削減	廃棄物	t/年	14.6	14.2	▲ 2 %削減
		3%削減	可燃ごみ	t/年	11.6	10.4	▲ 10 %削減
	(3) 紙類のリサイクル	3%向上		%	68	76	8 %向上

■ 温室効果ガスの総排出量に係る項目の評価

令和2年度の温室効果ガス総排出量(CO₂換算値)は、本庁舎、港湾会館における再生可能エネルギー100%電気の調達や設備更新等の取組を推進したことにより、32.9%削減となりました。
なお、新型コロナウイルス感染症対策による名古屋港水族館等の休館、港務艇の運航停止も減少要因の一つとなっています。
(参考) 目標：令和3年度に基準年度(平成25年度)比で14%削減 長期目標：令和12年度に基準年度比で26%削減

1 燃料使用量

- ・ 公用車：低燃費車への買替、走行距離の減少により38%削減
- ・ 船舶：新型コロナウイルス感染症対策による港務艇の運航減少、燃費の良い小型船舶の稼働増加等により68%削減

2 電気使用量

- ・ 事務：事務所の移管・統廃合及び再生可能エネルギー100%電気調達等により70%削減
- ・ 事業用施設：設備更新、施設の移管等により32%削減

3 ガス、石油等の燃料使用量

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の換気により、冷暖房効率が低下し7%増加

4 ハイドロフルオロカーボン

- ・ 適切な購入・交換を行った。

5 六ふっ化硫黄(SF₆)

- ・ 同ガスが封入された高圧開閉器等の廃棄処分はありませんでした。

■ 令和3年度の取組

第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の最終年度である令和3年度も温室効果ガスの更なる削減に向け、再生可能エネルギーの利用拡大や照明のLED化等、地球温暖化対策に取り組んでいきます。